



同窓会ホームページと同一シンボル

被災福島県人の素顔を伝える書

二〇一一年三月十一日の東日本大震災と大津波による放射能汚染に翻弄された福島県人の素顔を伝える書物「ビッグパレットふくしま避難所記 生きていく 生きてゆく」が昨年九月、本学の卒業生・天野和彦さん(昭56社教卒)を中心として刊行され、話題を呼んでいる。

大震災発生後、相馬市の避難所の運営支援に当たっていた天野さんは昨年四月十一日、東電福島第1原発から60キロ離れた郡山市のビッグパレットふくしま避難所に県庁運営支援チームの責任者として配置された。本書は同八月末に閉鎖された県内最大の災害避難所・ビッグパレットの約五カ月間にわたる記録だ。

富岡町や川内村の住民を中心に最大二千五百人の避難者でこたえ返す現場で、天野さんが何よりも優先したのが「命と人権を守る」だった。老若男女がコンクリートの建物の中で「起きているのか、



被災者の素顔を収めた本を手にする天野さん

ビッグパレットふくしま避難所記
「生きていく 生きてゆく」
卒業生・天野和彦さんを中心に刊行

全国大学対抗戦で11度目の優勝
男子ゴルフ部

第49回全国大学ゴルフ対抗戦と第35回全国女子大学ゴルフ対抗戦が六月二十七、二十八の両日、北海道安平町のオークウッドGCで行われ、本学男子が二年連続十一度目の優勝を飾った。

初日は一年生の村山駿君がベストスコア66をマーク、二年連続マスターズ出場の松山英樹君(三年)が68と続き、2位に15打差をつけた。

最終日も松山君がベストスコア68をマークするなど、着実にスコアを伸ばし、チームをけん引。チーム2日間の通算スコアは559で、2位の日本大に20打差をつけ、逃げ切った。

女子は初日の4位から、最終日に沖せいらさん(二年)がベスト



国内メジャーを制した藤本選手
2打差をつけ、ツアー初優勝を

今春卒業生が快挙

今春の卒業生が快挙達成！男子プロゴルフの日本ゴルフツアー選手権シテイバンクカップ六戸ヒルズ最終日が六月三日に茨城・六戸ヒルズCC(バー71)で行われ、今年三月に卒業したばかりの藤本敦GC(バー72)で行われ、本学卒業の佐伯三貴さん(平19社福卒)が通算7アンダーで二位に1打差をつけ、今季初優勝を飾った。通算四勝目。

佐伯選手は通算4勝目

日本女子プロゴルフのトーナメント、スタジオアリス女子オープン最終日が四月八日に兵庫・花屋敷GC(バー72)で行われ、本学卒業の佐伯三貴さん(平19社福卒)が通算7アンダーで二位に1打差をつけ、今季初優勝を飾った。通算四勝目。

本書の巻末には出版に至るまでの経緯や天野さんの思いがインタビュー形式で余すところなく記されている。また、福島県在住の詩人・和合亮一氏の五編の詩が寄せられているほか、巻頭帯には歌人・俵万智さんの推薦の言葉が掲載されている。

飾った。

国内三大メジャー大会に新人選手が勝つのは一九八五年以降、初めて。また、プロ五試合目での優勝は九九年の日本ゴルフツアー機構設立以来、三人目で最速タイになる。

なお、三位には四学年先輩の池田勇太選手が入り、本学卒業の二選手が大会を大いに盛り上げた。

二年ぶりに開催

平成22年度学位記・卒業証書授与式が三月二十四日、本学福聚殿で挙行された。昨年三月に行われるはずだったが、東日本大震災の影響により中止され、二年ぶりの開催になった。対象者は学位記、学部卒業証書合わせて一千五百六十五人。通学制三学部の卒業生千二百三十四人のうち51・3%の六百三十三人、保護者六百三十人、全体では約千三百人の人々が出席。中には津波の犠牲になられた



卒業生の遺族が遺影を携え、臨式に先立ち、萩野浩基学長が偈を唱える中、犠牲者に黙祷をささげた。萩野学長は「亡くなられた方の思いを心に新たな歴史を切り開いてほしい。未来は皆さんに託されている。」

現職角田市長が二期目の当選

任期満了に伴う宮城県角田市の市長選挙で現職の友喜助氏(昭49社教卒)が七月十五日、無投票で二期目の当選を果たした。二〇〇八年七月に初当選。二〇〇八年七月に初当選。二〇〇八年七月に初当選。



投票で二期目の当選を果たした。二〇〇八年七月に初当選。

社会福祉推進事業に採択

平成24年度社会福祉推進事業の国庫補助協議の対象に本学の事業が採択された。事業名は「東日本大震災後の要援護者の行動実態と支援実態に関する調査・研究」。

宮城県、岩手県、福島県を対象にアンケートとヒアリング調査を組み合わせて実施する。協議額は1500万円、実施期間は6月1日から平成25年3月31日。

子ども教育フォーラム開催

子ども科学部の総力を結集した「子ども教育フォーラム2012」が8月18日(土)午後1時から音楽堂けやきホールで開催される。テーマは「つながり」のある保育・教育を求めて。

参加は六カ国で前回優勝の米国が猛追したが、フリーの演技でトップに躍り出た鈴木さんの活躍で、辛くもかわした。

通信教育部からのお知らせ

本年三月で二〇〇二年開設から満十年を迎え、延べ卒業生は二千九百九十人となりました。来年度卒業生の方々が集まって久しぶりに先生のショート講義を聴いたり、卒業生の皆さまの実践報告や再会交流の場を設けたいと考えています。幹事をやっていただける方、

ぜひ名乗りをあげてください。また、仙台・札幌・東京でスクーリングのお手伝いをしてもよいという方がいらっしやいましたら、ご一報ください。

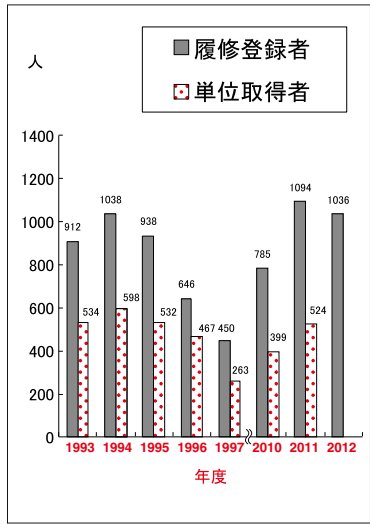
各地での社会福祉士・精神保健福祉士の実習指導者も募集しております。どうぞご連絡ください。

福祉大のタイガーマスク

東日本大震災による被害は本学関連だけでも広範囲に及んだ。学内施設のほか学生、その家族に犠牲者が出、自宅の流出・損壊など人的、物的損失は計り知れない。生計支持者の犠牲、自宅全壊・流出、大規模半壊、半壊を含め、被災学生に対する本学からの経済支援は平成23年度、2億4千万円を超えた。そうした中で、いち早く支援を寄せてくれたのが本学の卒業生であった。▼個人、団体を問わず、さまざまな形で善意が寄せられている。卒業生以外も含めると今年3月末時点で寄付金は1億3千万円に達した。ただ卒業生で、名前の公表をためらう方が少なからずいる。先日、十年ぶりに大学を訪れた方は、昨年9月に大病を患い、手術を余儀なくされたにもかかわらず、震災直後から勤務先の社会福祉法人ケアハウスで職員、利用者の方々にまで募金を呼びかけ、送金してくれている。▼病院費用、術後の費用など本来ならお金がいくらでも必要な身だというのに、貯めては定期的に送ってくれている。本人は「何かをしたかった。卒業して(距離的に)離れてしまったが、心を大切にしている素晴らしい大学のためだから」と、屈託なく笑う。ただただ頭が下がるとしか言いようがない。対応した財務部の職員も感謝の念で胸がいっぱいになった。ほかにも生活費の中から毎月送金してくれる方、子どもの教育費がからなくなつたからという理由で届けてくれる方もいる。▼「アニエス・タイガーマスク」の主人公「伊達直人」が全国の児童養護施設にランドセルを送り、話題を集めたのは大震災直前の年末・年始だった。本学の卒業生にもたくさんのタイガーマスクがあり、復興を後押ししている。

(国見 太郎)

頑張ってます
今も昔も



ゴミを拾う「ビューティーズ」の学生ら

1993 912 534 1038 598 938 532 646 467 450 263 785 399 1094 524 1036

体育会各部の成績

陸上競技部
日本学生個人選手権（6月24日平塚）
▽男子四百メートル 渡邊和也 46秒76 1位＝大会新

ハンドボール部
東北学生春季リーグ戦（5月17日）20日 福島・石川町）
▽男子 3位 女子 2位

ソフトテニス部
東北地区大学体育大会（7月9日 仙台市青葉山公園）
▽団体 男女とも本学優勝

柔道部
全日本女子学生優勝大会（6月23日 日本武道館）
▽本学 二回戦敗退

剣道部
全日本学生優勝大会（7月8日 日本武道館）
▽個人 藤枝誠 三回戦敗退も東西対抗（団体）で優秀選手賞獲得

空手部
東北地区大学体育大会（6月17日 秋田県立武道館）
▽女子組手個人 石川麻実 優勝

スキー部
（2月21日）29日 岩手・雫石）
▽女子2部団体 総合優勝

女子ソフトボール部
全日本大学選手権大会北海道・東北地区予選会（5月20日 東松島市）
▽決勝 東北福祉大 4ー1 富士大（8月31日から埼玉県坂戸市で行われる全国大会に出場）

バレーボール部
東日本大学選手権（6月27日）29日 札幌市）
▽女子 準々決勝（対嘉悦大）敗退

軟式野球部
全日本大学選手権東北地区代表決定戦（6月6日 仙台市民球場）
▽決勝 東北福祉大 7ー0 仙台大（8月8日、横手市の全国大会へ）

平成25年度入試情報

学部・学科および募集定員

学部	学科・専攻	募集定員	特別選抜				一般選抜									
			AO入試	推薦		小計	A日程		センター試験利用前期	B日程		センター試験利用後期	C日程		小計	
				A方式	B方式		学部統一	学部分割		学部統一	学部分割					
総合福祉学部	社会福祉学科	300名	26名	16名	81名	123名	61名	62名	16名	24名	7名	7名	177名			
	社会教育学科	100名	11名	5名	25名	41名	15名	15名	6名	17名	3名	3名	59名			
	福祉心理学科	120名	22名	10名	30名	62名	18名	18名	7名	8名	4名	3名	58名			
総合マネジメント学部	産業福祉マネジメント学科	100名	11名	5名	27名	43名	14名	15名	5名	17名	3名	3名	57名			
	情報福祉マネジメント学科	100名	11名	5名	27名	43名	14名	15名	5名	17名	3名	3名	57名			
子ども科学部	子ども教育学科	150名	12名	7名	25名	44名	28名	35名	15名	20名	4名	4名	106名			
	保健看護学科	70名	3名	3名	15名	21名	16名	17名	5名	5名	3名	3名	49名			
健康科学部	リハビリテーション学科	40名	4名	2名	6名	12名	6名	11名	5名	2名	2名	2名	28名			
	作業療法専攻	40名	4名	2名	6名	12名	6名	11名	5名	2名	2名	2名	28名			
	理学療法専攻	40名	4名	2名	6名	12名	6名	11名	5名	2名	2名	2名	28名			
	医療経営管理学科	80名	7名	4名	22名	33名	14名	15名	5名	5名	4名	4名	47名			
合計		1,100名	111名	59名	264名	434名	192名	214名	74名	117名	35名	34名	666名			

*「専門課程推薦」、「子弟等推薦」、および「帰国生徒」、「社会人」、「外国人留学生」入試は、「推薦A方式」の募集定員に含むものとします。

特別選抜 AO入試

第一次選考

区分	出願期間【必着】	選考日		通知発送日
		子ども科学部 健康科学部	総合福祉学部 総合マネジメント学部	
I期	8月13日（月）～20日（月）	8月25日（土）	8月26日（日）	8月31日（金）
II期	9月3日（月）～10日（月）	9月15日（土）	9月16日（日）	9月21日（金）
III期	10月1日（月）～9日（火）	10月13日（土）	10月14日（日）	10月19日（金）

第二次選考

区分	選考日	通知発送日	手続期限日
I期	9月22日（土）	9月22日（土）・23日（日）	9月28日（金）
II期	10月20日（土）	10月20日（土）・21日（日）	10月26日（金）
III期	11月17日（土）	11月17日（土）・18日（日）	11月22日（木）

推薦A方式【専門課程推薦・子弟等推薦・帰国生徒・社会人・外国人留学生】入試

●出願期間／平成24年10月26日（金）～11月5日（月）【必着】

学部	学科・専攻	選考日	試験会場	通知発送日	手続期限日
全学部	全学科	平成24年11月10日（土）	仙台（本学：国見キャンパス） 集合10:30 小論文11:00～ 面接13:00～	平成24年11月16日（金）	平成24年11月29日（木）

推薦B方式【公募制推薦入試】

●出願期間／平成24年11月1日（木）～11月15日（木）【必着】

学部	学科・専攻	選考日	試験会場	通知発送日	手続期限日
子ども科学部	子ども教育学科	平成24年11月23日（金）	仙台（本学：国見キャンパス） 集合10:30 小論文11:00～ 面接13:00～	平成24年12月7日（金）	平成24年12月20日（木）
健康科学部	保健看護学科	平成24年11月24日（土）			
総合福祉学部	社会教育学科	平成24年11月25日（日）			
健康科学部	リハビリテーション学科（理学療法専攻）	平成24年11月25日（日）			
総合福祉学部	社会福祉学科	平成24年11月26日（月）			
総合福祉学部	福祉心理学科	平成24年11月26日（月）			
総合マネジメント学部	情報福祉マネジメント学科	平成24年11月27日（火）			
健康科学部	医療経営管理学科	平成24年11月27日（火）			

一般選抜

大学入試センター試験利用入学試験（前期・後期）

●出願期間／前期：平成25年1月7日（月）～1月25日（金）【必着】
後期：平成25年2月12日（火）～3月4日（月）【必着】

学部	学科・専攻	試験日	試験会場	合格発表日	手続期限日
総合福祉学部	社会福祉学科	平成25年1月19日（土）・20日（日） [大学入試センター試験日]	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）	平成25年2月18日（月）
	社会教育学科				
	福祉心理学科				
総合マネジメント学部	産業福祉マネジメント学科	平成25年1月19日（土）・20日（日） [大学入試センター試験日]	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）	平成25年2月18日（月）
情報福祉マネジメント学科					
子ども科学部	子ども教育学科	平成25年1月19日（土）・20日（日） [大学入試センター試験日]	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）	平成25年2月18日（月）
健康科学部	保健看護学科				
	リハビリテーション学科				
	作業療法専攻	理学療法専攻	平成25年1月19日（土）・20日（日） [大学入試センター試験日]	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）
医療経営管理学科					

A日程試験【学部統一】

●出願期間／平成24年12月17日（月）～平成25年1月23日（水）【必着】

学部	学科・専攻	試験日	試験会場	合格発表日	手続期限日
総合福祉学部	社会福祉学科	平成25年1月29日（火）	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）	平成25年2月18日（月）
	社会教育学科				
	福祉心理学科				
総合マネジメント学部	産業福祉マネジメント学科	平成25年1月29日（火）	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）	平成25年2月18日（月）
情報福祉マネジメント学科					
子ども科学部	子ども教育学科	平成25年1月29日（火）	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）	平成25年2月18日（月）
健康科学部	保健看護学科				
	リハビリテーション学科				
	作業療法専攻	理学療法専攻	平成25年1月29日（火）	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）
医療経営管理学科					

A日程試験【学部分割】

●出願期間／平成24年12月17日（月）～平成25年1月23日（水）【必着】

学部	学科・専攻	試験日	試験会場	合格発表日	手続期限日
総合福祉学部	社会福祉学科	平成25年1月30日（水）	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）	平成25年2月18日（月）
	社会教育学科				
	福祉心理学科				
総合マネジメント学部	産業福祉マネジメント学科	平成25年1月30日（水）	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）	平成25年2月18日（月）
情報福祉マネジメント学科					
子ども科学部	子ども教育学科	平成25年1月30日（水）	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）	平成25年2月18日（月）
健康科学部	保健看護学科				
	リハビリテーション学科				
	作業療法専攻	理学療法専攻	平成25年1月30日（水）	仙台（本学：国見キャンパス） 札幌、青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月8日（金）
医療経営管理学科					

B日程試験【学部分割】

●出願期間／平成25年1月29日（火）～平成25年2月12日（火）【必着】

学部	学科・専攻	試験日	試験会場	合格発表日	手続期限日
総合福祉学部	福祉心理学科	平成25年2月18日（月）	仙台（本学：国見キャンパス） 青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月28日（木）	平成25年3月11日（月）
	医療経営管理学科				
	社会教育学科				
総合福祉学部	情報福祉マネジメント学科	平成25年2月19日（火）	仙台（本学：国見キャンパス） 青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月28日（木）	平成25年3月11日（月）
健康科学部	リハビリテーション学科（理学療法専攻）				
総合マネジメント学部	産業福祉マネジメント学科	平成25年2月20日（水）	仙台（本学：国見キャンパス） 青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月28日（木）	平成25年3月11日（月）
子ども科学部	子ども教育学科				
総合福祉学部	社会福祉学科	平成25年2月21日（木）	仙台（本学：国見キャンパス） 青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月28日（木）	平成25年3月11日（月）
健康科学部	保健看護学科				
健康科学部	リハビリテーション学科（作業療法専攻）	平成25年2月21日（木）	仙台（本学：国見キャンパス） 青森、盛岡、秋田、山形、郡山、水戸、東京、新潟	平成25年2月28日（木）	平成25年3月11日（月）
総合福祉学部	福祉心理学科				

C日程試験【学部統一】

●出願期間／平成25年2月19日（火）～平成25年3月6日（水）【必着】

学部	学科・専攻	試験日	試験会場	合格発表日	手続期限日
全学部	全学科	平成25年3月12日（火）	仙台（本学：国見キャンパス）	平成25年3月15日（金）	平成25年3月22日（金）

同窓会便り①

催しの報告

大分県懇親の集い

銅城義則氏（昭61社福卒）

東北福祉大学卒業生の大分県関係者懇親の集いが、六月二十三日（土）、大分市金池町のホテルクドウ大分で十人が参加し、開催された。

昭和六十三年に第一回の集いを催し、平成十八年以来六年ぶり十回目であったが、初回以来二回目の二桁の参加者を迎えることができた。

当日は、元大分県福祉保健部長で現在、大分県盲導犬協会の事務局長である神本紀武氏（昭39社福卒）から現代社会の社会福祉の諸問題を踏まえた地域社会の新たな支え合いについての問題提起と提言がなされた。参加者全員で今後の地域福祉の進むべき方向性について「絆」の大切さを考えた。

その後の懇親会は、前大分県精神保健福祉士協会会長である川野隆二氏（昭49産福卒）の乾杯で幕開け。参加者各位より自己紹介を

演劇同好会

昭和六十一年の入学組で演劇同好会のメンバーが再会したのは六月三十日。この日、この時間を皆がどんなに待ちわびていたことだろう。母校を訪問した後、仙台市国分町の小料理屋「河童亭」での懇親会は昭和のある時空にタイムスリップした。

卒業してから二十二年。話題の中心は大学の変貌に移った。驚きの一日を過ごした仲間の興奮は冷めやらず、まるで二時間の台本なしの舞台の中にいるようだった。

学生時代に昭和から平成に元号が改まるという一大事があった。「おどるポンポコリン」「真夏の果実」の歌が流れ、スーパーファミ



大分県懇親の集い

兼ねた近況報告が行われ、新たな「絆」づくりをイメージしながら、三十代後半から六十代後半の幅広い年代の参加者が、時間を忘れ語り合った。

第十一回目を近いうちに開催することを確認して、知的障害児通園施設「ひばり園」元園長の野田豊市氏（昭44社福卒）が万歳三唱し、会を締めくくった。

卓球部同窓会

「坂本孝温先生を囲む卓球部同窓会」が六月九日（土）、江陽グランドホテルで開催され、先生の



演劇同好会

コンが発表された年である。

このメンバーをつなぐことの一つに、女優・藤本喜久子の存在がある。通称タミー。彼女は中学生日記、暴れん坊将軍などに出演し、映画や舞台の主演も数多い。今回は十二人の宴会に電話で参加したタミー。再会ツアーのメンバーをつなぐ存在でもある。彼女の話を

定年のお祝いに昭和四十六年度から今年三月の卒業生までの教え子ら百十一人が参加した。

先生は同四十七年に卓球部長に

就任。創成期の弱かった時代には、高校の卓球部に武者修行に行くなどして育てた。現在、日本学生卓球連盟副会長、東北学生卓球連盟会長の要職を担っている。

最初に卓球部総監督の柴田幸男女子卓球部長が坂本先生と卓球部の歴史を紹介。卒業生を代表して猪狩寿夫氏（昭47産福卒）から長年にわたる指導に対し感謝の意が表され、乾杯となった。



卓球部同窓会 坂本先生を囲む会



前列左から4人目が工藤貢さん

昔の写真が映し出され、それにまつわるエピソードや出席できなかった卒業生からのビデオメッセージが上映されるなど、懐かしさいっぱいの和やかな会になった。

青森「退職者を励ます会」

青森県同窓会事務局

青森県同窓会は、年一回のビッグイベント「退職者を励ます会」を五月十九日（土）、青森市の居酒屋「おいらせ」で開催した。

今年は工藤貢さん（昭61産福卒）の退職を出席者二十三人で祝った。新たに事業を立ち上げ、毎日忙しい日々を過ごす工藤さんは、「体力が続く限り頑張りたい」と力強く話していた。

仙台に集まった仲間たち。記憶にある学生時代の仙台と、めざましい進化を続ける大学を目の当たりにしてどれほどの喜びを感じたことだろうか。

「四六時中も好きと言って、夢の中に連れて行って、忘れられない heart to soul 声にならない」

歌詞のイメージとは違うかもしれないが、あの頃に流れていた音楽がずっと体の中を駆け巡っていた。年代の違いこそあれ、自分の大事にしている時空を懐かし思う気持ちに変わりはしない。演劇同好会の再会ツアーの仲間たちが求めたもの、それは永遠に不滅な心と魂なのであると思わせる夜であった。

樺の会同級会

四本木宣昭氏（昭47社福卒）

「樺の会」（昭47年度卒）第二回同級会が十一月二十日、二十一日、紅葉の京都で十八人が参加し開催された。

学生時代は学生運動の激しい時代であり、卒業記念写真はもちろん、学生時代の思い出となる写真は何一つ残らない時代だった。しかし、そのような時代だからこそ、同級会の絆を強く感じた。

初日は東福寺と夜はライトアップされた永観堂の紅葉を、翌日は保津川下り嵯峨野を散策した。きつと足が痛くなった方が少なくないと思う。宿舎はKKR京都くに荘。裏側が鴨川、前は御所のため、早朝薄暗い時から目覚め、迎りを散策し楽しい時間を満喫した。次回の再開を約束し、涙の別れを惜しんだ。

3・11の震災で落ち込んでいた人からは、ひと時の休息で元気が取り戻せたとの趣旨の手紙が多く

オープンキャンパス同窓会

事務局長磯海千草（平19産福卒）



オープンキャンパスクラブ同窓会

昨年立ち上げた「東北福祉大学

大学指定団体オープンキャンパスクラブ（OCC）同窓会」の第二回総会を二月十一日（土）、本学大会議室で開催した。総会では、決算報告並びに事業報告と予算・事業計画等を審議して承認された。

「事業計画」の一つに挙げられた現役OCCへの支援では、六月二十四日（今年度第一回目）のオ

寄せられた。

今後会報を見られてより多くの方が参加していただけることを願っている。残された人生、お互いに励まし合う思いやりの心を大切にしたい。

次回は二年後（二〇一四年）小林一氏を主として岩手県人が幹事役を務める。

同窓会に一度も参加されていない方で、連絡先が分からない方は、「樺の会」事務局・〒919-11525 福井県三方上中郡若狭町瓜生三〇一十二三十八

四本木宣昭までご連絡ください。



昭和47年度卒業生一同



支援金贈呈

Cへの後方支援、そして母校オープンキャンパスの発展に寄与していきたい。

待望の全館復旧

東日本大震災から一年余が経過した四月四日、芹沢銈介美術工芸館は全館開館の完全復旧を遂げた。復活を記念し、「北国の染織」展が七月七日まで開催された。

大震災に見舞われた後、復旧作業に追われていたが、昨年十月五日に一階だけの一部再開を果たし、今年三月三日まで企画展が行われた。そして、新年度に間に合う形で待望の全館再開にこぎつけた。

記念展にふさわしく、北国の豊かな文化を再確認する作品が勢ぞろいした。津軽のこぎん刺し、南部の紫根染や茜染、岩手の夜着、庄内の被衣（かつぎ）、秋田の祝いけら、アイヌ民族のアップリケなど、どれも個性豊かな趣を醸していた。

当館初の試みも行われた。「北国の染織」にちなみ、六月二日「東北と被衣」（奈良綾、同十六日「南



6月16日に開かれた講座

部領の馬飾り」（本田秋子）、同三十日「津軽こぎん刺し」（濱田淑子）をテーマにした、本学学芸員三人による講座開催だ。

作品の映像を見ながら学芸員が説明。参加者は一様に真剣なまなざしを注ぐ一方で、熱心にメモを取る姿が目立った。三回の講座に延べ百人が参加した。

会期中の火、土曜日はワークショップ「こぎん刺しのしおりを作ろう」、恒例のギャラリートークも催され、にぎわった。岩手県雫石町の社会福祉協議会一行の三十三人ら六月の見学者も感激していた。

次回は八月四日開催の特別展。卒業生の皆さん、完全復活を遂げた当館にぜひお越しください。

東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 展示予定

年	2012年			2013年
	4月4日（水）～7月7日（土）	8月4日（土）～10月8日（月・祝）	10月25日（木）～12月20日（木）	1月15日（火）～3月2日（土）
展示内容	〈企画展〉北国の染織	〈特別展〉型絵染人間国宝芹沢銈介展 —布に寄りそえば、色と文様がうたいたす。—	〈企画展〉芹沢銈介の着物	〈常設展〉[1Fのみ] 堤焼・切込焼 猪口と飯茶碗

開館時間 10:00～16:30（入館は16:00まで）
休館日 日祝日（8/4～10/8の展示期間のみ：8/10～12・29～31休館）、展示替え期間、入試期間
入館料 一般300円、学生200円（高校生以下、本学学生・教職員は無料）

〒981-8522 仙台市青葉区国見1丁目8番1号
東北福祉大学2号館内 TEL 022-717-3318
FAX 022-717-3324

同窓会便り②

総会の報告

沖縄県同窓会

六月八日の夕方、那覇市の居酒屋「沖縄台所ばいかじ」で沖縄県同窓会が行われた。

沖縄県同窓会山内盛幸会長（昭43社福卒）の歓迎の挨拶から始まり、大学より出席した教育学部の岡田清一郎長と入試センターの幕内孝さん（平8社福卒）から大学の近況と入試状況を説明した。



沖縄県同窓会

青森県同窓会

青森県同窓会（国見会）第十三回総会が七月七日（土）、三沢市の「ホテルグランヒルツたや」で開催された。

総会には大勢の同窓生と大学から赤塚俊治教授（昭54社福卒）と吉田孝通信教育事務部長補佐（昭62社福卒）が出席した。決算報告並びに事業報告と予算・事業計画等を審議して承認された。その中で、二回目の東日本大震災義援金（昨年より十年間毎年十万円）が山内正毅



目録贈呈

青森県同窓会長（昭41社福卒）より吉田孝課長補佐に贈呈された。



青森県同窓会

群馬県同窓会

事務局長 前原欣一氏（昭53福心卒）七月二十一日（土）、第十一回群馬県同窓会総会が高崎ワシントンホテルで行われた。

講師に福富哲也教授を迎え、大学の歴史から学生の状況等まで話その後、赤塚教授から「現代社会における社会福祉の役割と機能を再考する」をテーマにした講演があり、吉田課長補佐が、義援金のお礼と大学の近況報告を行った。親睦会では、同窓生一同の強い絆を確認し、和気あいあいの雰囲気の中、交流を図った。

母校訪問

演劇同好会

事務局 皆川之彦氏（平1社教卒）昭和六十一年入学、「演劇同好会」で活動をともししたメンバーで同級会開催の機運が高まり、準備を進めてきたが、六月三十日（土）、「2012 俺たちの再会ツアーin仙台」と銘打って開催の運びとなった。

当日は、お昼前に大学に到着。総勢十一人、顧問をしていたいた青柳勉先生との感激の再会、お世話になった同窓会事務局へのあいさつを終え、なつかしい学食での昼食となった。



群馬県同窓会

同窓会発足予定

福井県同窓会

岸本光隆氏（昭61社教卒）

福井県にお住まいの同窓生の皆様にご案内いたします。

先の「東日本大震災」で被災した思い出の地、仙台に今年4月下旬、ようやく訪れることができ、荒浜地区のボランティアと友人訪問の合間を縫って、母校にも立ち寄った。

現在の国見キャンパスは、当時の面影が少しは残っているものの、魅力あふれるキャンパスとして大きく変貌していた。見違えるように明るい雰囲気変わった学食がある福聚殿や新設された音楽堂（けやきホール）、学生サポーターセンター、和の広場（半地下）

開催予告

平成二十四年度総会

一号館を去るとき、正門に向かって降りる階段にさしかかったとき、フワッと優しく、心地よい風が、私たちに向かって吹いてきた。その風は、頬をなでながら、「おかえり。」そう、ささやいているようだった。



演劇同好会

《秋田県大曲仙北会》
日にち：九月八日（土）
時間：十四時半（受付は十四時）
場所：秋田県大曲市大曲通町8-15
講演：「メンタルヘルス・職場の人間関係」
講演者：渡部純夫
連絡先：佐藤貴成 大曲プラザつみ内 TEL：0187-6310537
メール：tfuos2007@gmail.com

《富山県同窓会》
日にち：九月八日（土）
時間：十四時半（受付は十四時）
場所：富山県富山市新総曲輪4-18
講演：「いざというとき、できること」東北福祉大学の災害時のボランティア活動」

講演者：羽田哲朗
連絡先：090-3291-9251

《新潟県同窓会》
《市民公開講座講演会》
日にち：九月十五日（土）
時間：十三時半（受付は十三時）
場所：新潟県長岡市今朝白2-8-18（長岡市高齢者センター「けさじろ」）
講演：「虐待について」現状と課題」
講演者：小山剛 新潟県同窓会 会長
《同窓会総会・懇親会》
市民公開講座講演会後
時間：十六時
連絡先：三林けい子
TEL：070-655910902

《山形県同窓会》
日にち：十一月十日（土）
時間：十五時（受付は十四時半）
場所：山形県山形市香澄町3-211（ヤマコホール）

講演：未定
講演者：未定
連絡先：猪野弘行
TEL：028-621-2940

《児童福祉部OB会》
日にち：十一月二十三日（金）
二十四日（土）
場所：宮城県白石市小原湯元23（旅館かつらや）
連絡先：大屋賢治
TEL：024-934-1385

講演：未定
講演者：未定
連絡先：未定
TEL：023-632-5088
メール：tfu.yamagata.d@gmail.com

《栃木県同窓会》
日にち：十二月九日（日）
時間：十五時
場所：栃木県宇都宮市駒生1-16（栃木県青年会館コンセーレ3階研修室）
講演：未定
講演者：未定
連絡先：未定
TEL：028-621-2940

事務局から

ホームページを公開中

同窓会の開催予告、開催報告等の配信をはじめ、氏名・住所変更の続きができます。

なお、氏名・住所変更の際には会員番号が必要となります。（宛名氏名の右下に掲載）
ホームページアドレス：
http://www.tfu.ac.jp/alumni

短信

寄稿して頂きました方々、ありがとうございます。スペースの関係上、記事をカットせざるをえなかったこと、ご了承ください。

なお、表彰・入賞した方、個人または同窓生に関するニュースは大歓迎です。ご協力のほどよろしくお願いします。

お問い合わせ先 同窓会事務局
TEL：022-233-3111
FAX：022-233-3113
メール：dousou@tfu-mail.tfu.ac.jp



小林氏

勤めた小笠原憲昭氏（昭44社福卒）が三月、町議会議員選挙で初当選した。「義務教育での保護者の負担軽減や高齢者、若者が安心して暮らせる町づくりに取り組む」と抱負を話した。教育長時代の平成十六年から二年間、本学水泳部としての日々を想い起こして乗り越えたことも数知れずある。



小笠原氏

同窓会の絆に感謝
小林英二氏（栃木県）
私は、昭和51年度に社会福祉学部を卒業し、大学で主に「重度重複障害のある子どもの保健と発達」と「障害者の社会参加」を学んで、郷里・栃木県内の自治体や保育園等で仕事をして三十五年目を迎える。

底流には、大学での学びと学友との切磋琢磨が今も脈々とあつて、深く感謝している。仕事で苦



小山氏

サンダーバード宮城支部設立
災害時に要援護者支援活動を行う認定特定非営利活動法人「災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード」の宮城支部設立記念フォーラムが七月七日、本学ステーションキャンパス館で開催され、全国から会員や支援活動者ら約百人が参加。本学の特任教授で同法人の代表理事を務める小山剛氏（昭51社福卒）が講演した。